

# 岐阜新聞真学塾

出題 蟻雪ゼミナール 忠節校・安田弘之

## 問題【英語】

“日本の印象、昭和／平成と令和と”

以下の英文は、私が大学1年時にフランス人と交わした会話です。文章を読んで設問に答えましょう。

フランス人 “My Friend said to me “Is Japan a part of France?””

私 “Why? Japan is Japan. Japan isn't France at all. I can't understand. Why does he say “Japan is a part of France?””

フランス人 “I think he thinks Japan is a colony(植民地) of France.”

問：なぜフランス人の友人は、日本をフランスだと言ったのですか。

## 豆知識 雑学コラム

## 「日本の印象」の変遷

大学生当時、私はフランス語を専攻していました。1990年代の初頭、日本の経済力は今以上だったと思いますが、存在感については今ほど高くなかったと思います。通っていたフランス語の会話学校の講師の何人かは、母国での徴兵逃れの一つとして日本でフランス語を教えており、日本には興味がなさそうでした。当時の東京も、外国人観光客は少なかったように思います。

一方で、昨年11月初旬に東京を訪れたのですが、新宿は外国人旅行者が多く、新宿駅前のコーヒーショップはガイジンばかりで、逆に私がガイジンみたいでした。

大学生時代、私はフランスの本が好きだったので、フランスに対する漠然としたあこがれがあった一方、何となくフランス人に対して劣等感を抱いていたような気がします。実際に、フランス人はカッコよく、洗練されていましたが、農業国であり、イスラム教徒が多くいたりなど、私が描いていたフランスと違う側面も多く見ました。また、植民地も多く存在していて、その一つのアルジェリアの独立問題は当時、よく議論されました。日本は極東アジアなので、あまりフランス人からは意識されず、植民地の一つじゃないかと思われていたのでしょうか。

1980年代後半から90年代前半が転機ではないかと思います。先日の英国のBBCの特集で、80年代にヨーロッパでファミコンが売れなかつたのが、89年のベルリンの壁崩壊時、東ドイツでファミコンが自由や解放の象徴となり、それをきっかけにヨーロッパで売れ始めたと報道されていました。また、オタク文化のハシリの漫画家・高橋留美子さんの作品は80年代に英訳されたのですが、当時売れず、90年代以降、アニメ化とともにヒットしました。

ゲームやアニメ・漫画といったサブカルチャーから、日本文化全般に興味を持っている人が多くいます。私は以前、なんとなく欧米に対して劣等感を持っていましたが、今では「日本に住んでいるなんていいな」と言う欧米人を見ます（私の知り合いがアニメ好きだからでしょうか）。日本の印象について、今後の変化が楽しみですね。

## 【解答】

日本がいつぞよそに一つの殖民地の如く日本